

令和7年度事業報告

I 概要

公益目的事業として下記のとおり4事業を実施しました。

1 県民への広報事業

臓器移植及び腎臓病の予防に関する理解を広げるための事業

2 移植医療体制整備等事業

臓器提供、臓器移植を担う医療機関の対応力の向上や臓器搬送をはじめ移植医療との連携が必要な機関などの体制の整備と連携の強化等を推進する事業

3 臓器移植希望者支援事業

臓器移植を希望する患者に対する情報提供・助成等の支援事業

4 臓器提供者フォロー事業

臓器提供者側に十分な敬意と謝意を示すとともに、提供者遺族等への精神面の支援等を行う事業

II 各事業の実施状況

1 県民への広報事業【公益目的事業1】

県民に対して、臓器移植の必要性や臓器不足の現状、臓器移植の制度等への理解、臓器提供意思表示カードの携帯などを訴え、臓器移植の普及に取り組むとともに、特に臓器移植希望者が多い腎不全患者の増加等を抑制するため、腎疾患の予防のための知識の普及を図りました。

(1) 啓発イベント等による広報

①臓器移植普及推進月間（10月）グリーンリボンキャンペーン

毎年全国一斉に展開されている臓器移植普及推進月間事業として、街頭キャンペーン、懸垂幕の掲示、グリーンライトアップ、ポスター等の配布、市町等のデジタルサイネージ・展示コーナー等により臓器移植への理解、臓器提供に関する意思表示の普及広報に努めました。

a) 街頭キャンペーン

場 所 ゆめタウン佐賀(佐賀市)

期 日 10月14日(火)

内 容 啓発グッズの配付

b) 懸垂幕による広報

場 所 佐賀県庁、佐賀市富士支所、小城市役所

期 間 佐賀県庁 10月 1日(水)～10月31日(金)

佐賀市富士支所 10月 1日(水)～10月31日(金)

小城市役所 10月14日(火)～10月31日(金)

内 容 懸垂幕〔「あなたの意思で救える命があります。臓器提供意思表示にご協力を」佐賀県・佐賀県臓器バンク・日本臓器移植ネットワーク〕

c) グリーンライトアップによる広報

場 所 佐賀県庁
期 間 10月 1日(水)～10月 8日(水)
10月14日(火)～11月 3日(月)
場 所 嬉野市嬉野橋
期 間 10月 1日(水)～10月31日(金)
場 所 佐賀大学医学部附属病院
期 間 10月 6日(月)～10月17日(金)
場 所 久光製薬ミュージアム
期 間 10月 8日(水)～10月17日(金)
場 所 佐賀メディカルセンタービル
期 間 10月10日(金)～10月19日(日)
場 所 唐津市近代図書館
期 間 10月11日(土)～10月26日(日)
場 所 唐津赤十字病院
期 間 10月13日(月)～10月19日(日)
場 所 SAGAアリーナ
期 間 10月13日(月)～10月26日(日)
場 所 筑後川昇開橋
期 間 10月15日(水)～10月22日(水)

d) ポスター等による広報

内 容 移植医療への理解を呼びかけるACジャパン支援ポスター1, 304枚を配布
配布先 医療機関、市町、学校、警察署、運転免許センター、自動車学校等

e) デジタルサイネージ(臓器提供意思表示促進CM)

佐賀県庁、佐賀市役所、鳥栖市役所、多久市役所、武雄市役所、小城市役所、
神埼市役所、太良町役場、佐賀メディカルセンタービル、佐賀大学医学部附属病院、
佐賀県医療センター好生館、伊万里有田共立病院、済生会唐津病院、
武雄市図書館・歴史資料館、久光製薬ミュージアムの県内15カ所で実施した。

f) 移植医療に関するコーナー展の設置

佐賀県庁、佐賀市役所、唐津市役所、多久市役所、伊万里市役所、武雄市役所、小城市役所、
吉野ヶ里町東脊振健康福祉センター、基山町保健センター、有田町福祉保健センター、
大町町総合福祉保健センター、白石町役場、太良町役場、佐賀中部保健福祉事務

所、鳥栖保健福祉事務所、唐津保健福祉事務所、伊万里保健福祉事務所、杵藤保健福祉事務所、昇開橋橋の駅ドロンパ、佐賀メディカルセンタービル、佐賀大学医学部附属病院、伊万里有田共立病院、河畔病院、白石共立病院、山元記念病院、佐賀市立図書館本館、佐賀市立図書館東与賀館、佐賀市立図書館久保田館、唐津市近代図書館、鳥栖市立図書館、伊万里市民図書館、武雄市図書館・歴史資料館、鹿島市民地区図書館、小城市民図書館小城館、嬉野市図書館嬉野館、嬉野市図書館塩田館、神崎市立図書館の県内37カ所で実施した。

g) 移植を受けたこどもたちの作品展・全国移植者スポーツ大会写真展

場 所 山元記念病院
 期 間 10月 1日(水)～10月31日(金)
 場 所 佐賀メディカルセンタービル
 期 間 10月 1日(水)～10月10日(金)
 10月17日(金)～10月31日(金)
 場 所 佐賀県庁
 期 間 10月14日(火)～10月16日(木)

h) いのちのリレーポスターコンテスト

臓器移植が「いのち」という贈り物を「新しいいのち」へつなげていく「いのちのリレー」になることについて考えてもらう趣旨で、ポスターコンテストを実施した。

応募者70名

入賞者 5名 金賞、銀賞、銅賞、審査員特別賞、佐賀県腎臓病協議会長賞

入賞作品等は、佐賀県庁新館県民ホールに展示した。

[表彰式]	場 所	佐賀県庁旧館4階正庁
	期 日	10月13日(月)
[作品展示]	場 所	佐賀県庁新館1階県民ホール
	期 間	10月14日(月)～10月16日(木)

②世界腎臓デー(毎年3月第2木曜日)におけるキャンペーン

SAGATOKO 桜ウォーク会場(佐賀市)で啓発グッズを配布(3月7日(土))

さが桜マラソンおもてなしブース(佐賀市)で啓発グッズを配布(3月22日(日))

(2) 他団体の各種イベントや街頭等における随時の広報

①県内イベントや街頭での広報事業

多くの県民の方に移植医療や提供臓器が不足している現状、制度や臓器提供意思表示の手続きなどについて理解を広げるため、県内各地で開催される他団体のイベント会場等において、県民を対象にパネルの展示、臓器移植意思表示カード、リーフレットの配布により、広報を行いました。

実施会場 佐賀市 佐賀大学医学部学園祭（5月31日（土）～6月1日（日））
実施会場 佐賀市 Bリーグ開幕戦 SAGAアリーナ（10月4日（土））
実施会場 嬉野市 さが国際フェスタ（10月5日（日））
実施会場 佐賀市 富士町ふれあい祭（10月25日（土）～10月26日（日））
実施会場 佐賀市 西九州大学学園祭（11月8日（土））
実施会場 佐賀市 QPS 健康ウォーク（11月30日（日））

※QPS とは、九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォームの略称

② 市町二十歳の集い（旧名称：成人式）会場における広報

二十歳の集いへの参加者に対して、臓器提供意思表示カード普及についてのリーフレットを配布しました。

対象市町数 20市町 送付数 5,420部

(3) 公共施設窓口等における広報

市町庁舎、図書館、県運転免許センター等の公共施設、医療機関、薬局、保健所、金融機関、大学等の窓口臓器移植に関するリーフレット等を配置し、当該施設等への来場者に対する広報を行いました。

資料配置箇所 累計 約800カ所

(4) 出前講座

看護関係の専門学校・高校・大学等での授業等の際に、要請に応じて、臓器移植コーディネーターによる講座、学習会を行いました。

- ・佐賀大学医学部看護学科（4月17日） 60名
- ・武雄看護リハビリテーション学校（4月22日） 74名
- ・西九州大学看護学部 （4月23日）10名、（10月21日） 66名
- ・伊万里看護学校 （5月8日） 26名
- ・武雄看護学校 （5月9日） 20名
- ・鳥栖三養基医師会立看護高等専修学校（5月22日） 14名
- ・医療福祉専門学校緑生館 （7月15日） 45名、（11月28日） 38名
- ・佐賀市医師会立看護専門学校（9月22日） 28名（10月16日） 25名
- ・佐賀女子短期大学附属佐賀女子高等学校衛生看護専攻科（11月10日） 66名
- ・佐賀県看護協会北部地区支部（11月22日） 47名
- ・鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校（2月19日） 3名
- ・佐賀県医療センター好生館看護学院（3月4日） 41名

（計 563名）

《県民への広報事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益、寄附金

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置及び活動等に対する助成

2 移植医療体制整備等事業【公益目的事業1】

臓器提供者側の意思表示に適切に対応し、臓器提供、臓器移植を円滑に進めていくには、臓器提供が発生する可能性がある医療機関における臓器提供時の対応力の充実、臓器提供側医療機関と移植を行う医療機関及び臓器移植コーディネーター、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク等の当事者間の協力と連携体制を築いておくことが不可欠です。当財団の臓器移植コーディネーターが各医療機関を訪問して当該医療機関の課題等を把握するとともに、臓器提供時に臓器提供医療機関の窓口となり、また日頃から各医療機関内での体制づくりの推進役となる院内移植コーディネーターの配置や、県内の移植医療関係者を対象に連絡会議や研修会等を開催して、各医療機関の臓器移植への対応力の向上と協力・連携体制の向上を図りました。

また、臓器移植を行う場合には、摘出された臓器の搬送を限られた時間内に的確に搬送する必要があるため、臓器搬送車の誘導等を行う警察や航空機利用時の空港、緊急時での活用が想定される防災ヘリコプターの管理者等と、連絡体制や連絡方法、臓器搬送時に必要な配慮などについて予めマニュアル化しており、担当者等の交代時には随時確認するなど対応力の維持に取り組みました。

(1) 院内移植コーディネーターの配置

臓器提供の可能性が高い救急指定病院（消防法及び厚生労働省令に基づき都道府県が指定告示した病院）等において、臓器提供時の病院内当事者間の調整、県臓器移植コーディネーターや公益社団法人日本臓器移植ネットワークとの連絡調整等を担うとともに、日頃からの病院内体制づくりをけん引する「院内移植コーディネーター」を委嘱しました。

- ・ 令和7年度委嘱者数（施設数）77名（13医療機関）

佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館、唐津赤十字病院、河畔病院、
済生会唐津病院、白石共立病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院、
やよいがおか鹿毛病院、新武雄病院、今村病院、山元記念病院、織田病院

- ・ 報酬等 なし

(2) 院内移植医療勉強会の開催

河畔病院

日時 4月8日（火） 15:30～16:00

場所 河畔病院会議室

内容 心停止後臓器提供の流れと対応

嬉野医療センター

日時 8月7日(木) 17:30～18:30

場所 嬉野医療センター講堂

内容 脳死下臓器提供の流れと病棟看護師の役割

日時 3月12日(木) 15:00～16:45

場所 嬉野医療センター講堂

内容 ポテンシャルドナー発生～初動～承諾

(3) 連絡・連携のための会議等の開催

移植医療関係者の相互の連携を深めるとともに、共通する課題等についての情報・意見の交換によって知識を深めるため、県内移植医療関係者合同の連絡会議を開催しました。

①佐賀県臓器移植普及会議の開催

a) 令和7年度第1回会議

日時 令和7年11月19日(水) 15:00～17:15

参加者 県内院内移植コーディネーター、移植医療関係者

内容 「小児臓器提供における院内移植コーディネーターとしての関わり」

講師 鹿児島市立病院 集中治療部 看護師長 取違 里美 先生

「当院における小児科脳死下臓器提供への取り組み」

講師 独立行政法人国立病院機構 四国こどもおとなの医療センター

鹿児島市立病院 小児科 山田 浩平 先生

「臓器提供家族の思いと願い～妻はみんなと生きている～」

講師 五十嵐 利幸 様

b) 令和7年度第2回会議

日時 令和8年3月21日(土) 13:30～16:30

参加者 県内院内移植コーディネーター、移植医療関係者

内容 脳死下臓器提供(第1294例目)症例発表 佐賀県医療センター好生館

「脳死下臓器提供を経験して～各部門より～」

座長：副館長 内藤 光三先生

演題 1「主治医より」

発表者 脳神経内科医員 海野 青藍 先生

演題 2「脳死判定医より」

発表者 脳卒中センター長 高島 洋 先生

演題 3「臨床検査技師より（法的脳死判定）」

発表者 検査部主任技師 多久島 新 先生

演題 4「病棟看護師より」

発表者 ICU看護師長 米原 悠子 先生

演題 5 「手術室看護師より」

発表者 手術部看護師 綾部 加奈 先生

演題 6「事務部より」

発表者 総務課庶務係長 藤木 明彦 先生

②院内移植コーディネーター研修会の開催

研修会 第1回院内コーディネーター研修会

日時 令和7年8月2日（土）10：00～16：00

参加者 県内院内移植コーディネーター

研修①

内容 「移植医療の基礎知識」

講師 公益財団法人佐賀県臓器バンク

臓器移植コーディネーター 荒木 千代美

研修②

内容 「ご家族に寄り添う意思決定支援」

講師 長崎大学病院 高度救命救急センター 副看護師長

災害医療支援室 副室長 救急看護認定看護師 宮田 佳之 先生

研修③

内 容 「臓器提供に関する院内体制整備」
講 師 佐賀大学医学部附属病院 脳神経内科 講師 鈴木 耕平 先生

研修④

内 容 「角膜提供の流れ」
講 師 公益財団法人佐賀県アイバンク協会 代表理事 乗田 泰 先生

研修⑤

内 容 「脳死下・心停止後臓器提供の流れ」
講 師 公益財団法人佐賀県臓器バンク
臓器移植コーディネーター 荒木 千代美

研修⑥

内 容 「適応判断～こんなとき、どうする？」(グループワーク)
講 師 福岡県メディカルセンター
臓器移植コーディネーター 岩田 誠司 先生

研修⑦

内 容 「臓器提供の意思確認・選択肢提示(情報提供)」
講 師 佐世保市総合医療センター 救急集中治療科
救命救急センター長 平尾 朋仁 先生

(4) 臓器搬送体制の確保

臓器搬送への協力が必要な警察、消防、空港、防災ヘリ等の関係機関の組織や担当者の異動に伴う連絡網の修正等に伴い、「佐賀県における脳死下臓器提供・移植時の臓器搬送マニュアル」の見直し等を行い、着実、迅速な臓器搬送ができるよう佐賀県危機管理防災課、防災航空センター、佐賀空港事務所、佐賀県警察本部、関係消防機関等による協力機関連絡会議を開催し、臓器提供者発生時の検視、臓器搬送に関する連絡方法等について確認しました。

・臓器提供発生時の協力機関連絡会議

日 時 令和7年6月26日(水) 15:00～16:00

場 所 佐賀市 佐賀メディカルセンタービル 研修室

参加機関 佐賀県危機管理防災課、防災航空センター、佐賀空港事務所、
警察本部警備第二課、地域課、捜査第一課、佐賀広域消防局、杵藤地区消防本部、
唐津市消防本部、県健康福祉政策課、佐賀県臓器バンク

《移植医療体制整備等事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益及び受取民間補助金収益、寄附金

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

3 臓器移植希望者支援事業【公益目的事業1】

臓器移植を受けるために必要な臓器移植希望登録の際に本人の負担を軽減するため、手続きの支援や費用の助成を行いました。

(1) 臓器移植希望者への情報提供

5件の相談に対応して、電話や対面での相談、検査施設での立会、手続きの支援等を行いました。

(2) 臓器移植希望登録に係る費用の助成

公益社団法人日本臓器移植ネットワークに臓器移植希望を登録するために必要な組織適合検査（HLA検査）に要する費用を助成しました。

助成者数:13名 助成額:325,000円

《臓器移植希望者支援事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益、寄附金

- ・ 県補助金の名称：佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金
- ・ 県補助金の目的：臓器移植コーディネーターの設置・活動に対する助成

4 臓器提供者フォロー事業【公益目的事業1】

- ・ 臓器提供者ご遺族への移植者経過報告 令和8年 1月(1カ月後報告)

《臓器提供者フォロー事業の財源》

基本財産運用収益、受取県補助金収益、寄附金

佐賀県臓器移植連絡調整者設置事業費補助金